



R7年10月度:定例会「北区・志賀の里散策」

R7年10月7日(火) 9:30 ~ 14:00

☆行 程 名城公園・IG アリーナ → 洞松山長栄寺(ちょうえいじ) → 多奈波太(たなばた)神社 → 少林山西来(せいらい)寺 → 綿神社 → 黒川駅 ランチ

* オープンして間もない IG アリーナを見学(外観)、名古屋城築城に伴う寺社の移転や、尾張七夕伝説、戦国武将との所縁、弥生人渡来の所縁の神社など、一步踏み込むごとに奥深い名古屋の歴史に触れることができました。歴史を体感するまち歩きの後には、黒川駅近くでのランチタイム。交流を深める楽しい時間になりました。(13名参加)



志賀の里散策

太古、現在の北区志賀一帯は海で、弥生時代に福岡県・志賀島辺りから一族(海人族)が渡来したと考えられ、この地域に住み始めた人々が、故郷を偲び「志賀」という地名をつけたといわれています。

洞松山 長栄寺

二代目の実戒和尚が説法をしていると、近隣の動物たちが皆集まって寺の境内で聞き耳を立てていたとの故事に基づき、現在はペットの供養の寺としても知られています。



多奈波太神社 この地の神社は、昔から大雨が降ると庄内川が氾濫したため川の神様の怒りを鎮めようと建立されたものと考えられています。いつの頃からか中国から七夕の話が伝わり、天の川を庄内川、牽牛星を小田井の若者、織女星を田幡の娘にみたててふたつの神社を結ぶ伝説がうまれました。

少林山西来寺 慶長年間、名古屋城築城に伴い現在地に移転。尾張四代藩主徳川吉通公の厚遇を受け、達磨大師の少林寺にちなんで改号された寺院です。



綿神社 弥生人渡来の時代に起源を持つとされる古い神社で、『延喜式神名帳』にも記されている格式高いお社です。境内には、織田信長から奉納された槍先や、平手政秀が信長公の改心を祈願して奉納したと伝わる手彫りの狛犬があり、戦国時代の歴史ロマンを感じる場所でもあります。





北区：綿神社

郷土の歴史を楽しむ会

2025年10月

活動のお知らせ



近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

R7年 10 月度定例会「北区：志賀の里散策」

令和7年10月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“^わ輪・^わ和・^わ笑”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日 時 : 令和7年10月7日(火) 9:30~14:00

☆集 合 : 地下鉄名城公園駅改札機出口付近 9:30



☆行 程 : 名城公園・IGアリーナ・^{おふけ}御深井焼窯址・^{げんびん}元寶焼窯址 → ^{ちょうえいじ}洞松山長栄寺
→ ^{たなぼたじんじや}多奈波太神社 → 少林山西来寺 → 綿神社 → 地下鉄黒川駅

☆費 用 : 100 円 (資料代) ※ 参加入力締め切り：9月30日

※ ランチ:オプション(黒川駅近辺)

※ 太古、現在の北区志賀一帯は海で、弥生時代に福岡県・志賀島辺りから一族(海人族)が渡来したと考えられ、この地域に住み始めた人々が、故郷を偲び「志賀」という地名をつけたといわれています。

